

開催予定日 (ICM)	会議名 主題 等	開催場所	参加予定数 国外+国内	連絡先 世話係 等
8.15—8.19	Current Topics in Operator Algebra	奈良 **	50+70	中神祥臣(横浜市大)
8.18—8.22	The Second Int'l Conf. on Graph Theory	箱根 セミナーハウス	80+120	秋山 仁(東海大) 榎本彦衛(慶応大)
8.21—8.29 ICM 90 国立京都国際会館 約3500				
8.22—8.24	1990 Symbolic and Algebraic Computation	東京 日大講堂	100+100	小林英恒(日大) 佐々木建昭(理化研)
8.31—9. 2	Rep. Theories of Lie Groups and Lie Algebras	山梨	20+70	大島利雄(東大)

** 場所の変更

溝畑 茂 ICM 90 学術委員会委員長(大阪電通大)

ジャーナル編集委員会からのお知らせ

(1) J. Math. Soc. Japan の投稿規定を変更しました。新しい規定は、10月に発行された、1989年度数学会会員名簿の巻末に記載してあります。

(2) J. Math. Soc. Japan の手持ち原稿が減少しています。会員からの優れた原稿の投稿を歓迎いたします。

現在、42巻1号(1990年1月下旬発行予定)を編集中です。同号掲載論文の大部分は、投稿から1年~1年3ヶ月で出版されることとなります。

集会記録

昭和63年度 General Topology シンポジウム

昭和63年度科学研究費総合(A)(代表者：東大理・松本幸夫)の援助による標記シンポジウムが、昭和63年12月5日から7日まで、筑波大学において開催された。56名の参加があり、下記の講演が行われた。

1. 川村一宏(筑波大) : A class of maps related to span zero continua.
2. 酒井克郎(筑波大) : On subgroups of the homeomorphisms group of a compact Hilbert cube manifold.
3. 三輪拓夫(島根大) : Simplicial complexes with the locally convex topology.
4. 寺沢 順(防衛大) : How different are the examples due to Roy and Kulesza?
5. 大田春外(静岡大), 玉野研一(横浜国大) : Perfect images of 0-dimensional σ -spaces.
6. 渡辺 正(山口大) : Recent developments in inverse limits.
7. 家本直幸(琉球大) : On paracompactness of spaces having the β -property.
8. 田中祥雄(東京学芸大) : Products of k -spaces and spaces dominated by metric spaces.
9. 津田光一(愛媛大) : Hausdorff 次元について—フラクタルの観点から—.
10. 田中秀典(上武大) : Countable paracompactness

of Pixley-Roy hyperspaces.

11. 平出耕一(筑波大) : Positively expansive open maps of Peano spaces.

12. 加茂静夫(大阪府大) : Q のコピーを含む space.
 なお、詳細はシンポジウム報告集を御参照下さい。報告集をご入用の方は、渡辺正(山口大教育)まで御連絡下さい。

(渡辺正記)

トポロジー若手セミナー

標記のセミナーが1989年7月17日から19日まで郡山簡易保険保養センターで開催され、下記の講演と、活発な討論が行なわれた。予稿集を希望される方は、石川(北大理(教養))に御連絡下さい。

1. 足立正久(京大理) : A note on $\Gamma\mathcal{C}$ -structure.
2. 大池宏清(山形大理) : Tursted linear actions on complex Grassmannians.
3. 山口耕平(電通大) : On the homotopy types of certain Poincaré complexes.
4. 島川和久(京大数理研) : A note on $\Gamma\sigma$ -spaces.
5. 小林真人(東工大理) : Simply connected 4-manifolds with simple stable mappings.
6. 福井和彦(京産大理) : Instability of certain foliations of 4-manifolds by Klein bottles.
7. 泉屋周一(北大理) : Contact regular immersions.
8. 石川剛郎(北大理) : Maslov indices and singularities of isotropic map-germs.
9. 村山光孝(東工大理) : 同変分類空間の構成.
10. 阿部孝順(信州大教養) : 対称空間の正則閉曲線と幾何学的構造.
11. 安井 孜(山形大教育) : Vector bundle epimorphisms and submersions.

(石川剛郎記)

名 称(主題)	主催者(所属)	開催場所 開催時期	報告集の有無と入手 可能な場合の連絡先
数学の基礎をめぐる歴史的諸問題	長岡亮介(津田塾大)	新宿農協会館 2.23~2.25	無
第80回日本数学会九州支部会 春期例会	塩浜勝博(九大理) 古園裕巳(大分大教育) 中尾慎宏(九大教養)	九大理 2.25	無
Primitive form と Lie 群	斎藤恭司(京大数理研)	京大数理研 3.14~3.18	無
組合せ論とその周辺の研究	松林英之(名大理)	名大理 3.16~3.17	無
函数解析学と関連分野	佐藤幹夫(京大数理研)	京大数理研 3.20~3.31	
代数的コード理論と関連分野	伊藤正美(京都産大理)	京大数理研 3.23~3.24	数理研講究録
確率論セミナー4月シンポジウム	谷口説男(九大工)	東大教養 3.29~3.31	無

おしらせ

ICM 90 について

(1) 準備状況

6月20日付で第11回国際数学連合総会及び第21回国際数学者会議を我が国において開催することについて、閣議了解が得られ、それに伴って、組織委員会が作られ、第一回の委員会が8月14日、日本学術会議にて開かれた。第11回国際数学連合総会及び第21回国際数学者会議組織委員会

顧問 彌永昌吉 川井三郎 南雲道夫
山内正憲 吉田耕作

役員は次の通り

委員長 小平邦彦
副委員長 伊藤清 小松彦三郎
総務幹事 荒木不二洋
幹事(会計) 戸田宏
幹事 飯高茂 永田雅宜 服部晶夫
広中平祐 溝畑茂
幹事会会員(以上に加え)
佐武一郎 田村一郎 藤田宏

さらに次の部分が置かれる。かっこ内は委員長

総務部会(藤田宏) 財務部会(田村一郎)
学術部会(溝畑茂) 地区部会(永田雅宜)
出版部会(佐武一郎) 渉外部会(服部晶夫)
広報部会(飯高茂)

以上の委員と重複するが、委員としては、日本学術会議(国際会議委員会)15名、主催7学会側(運営委員会)15名があり、さらに各部会委員をもって全体が構成される。

(2) 第11回国際数学連合総会及び第21回国際数学者会議準備状況及び今後の準備運営

ICM 90 検討委員会(日本数学会)

1984年5月21日—1985年1月19日
(第1回) (第6回)

ICM 90 準備委員会(日本数学会)

1985年2月16日—1986年10月18日
(第1回) (第6回)

国際数学者会議招致 1986年5月

国際数学連合(IMU)理事会に提案、開催地選考委員会
が内定。

京都開催の正式決定 1986年7月31日—8月2日
オークランドにおいて開催されたIMU総会において
決定。

共催学会依頼 1986年10月
日本数学教育学会、日本オペレーションズ・リサーチ
学会、日本科学史学会、日本ソフトウェア科学会、日
本統計学会、日本アクチュアリー会が共催を決定。

ICM 90 運営委員会

1986年12月6日—1989年8月14日
(第1回) (第5回)

日本学術会議との共同主催申請 1987年12月

日本学術会議共同主催内定 1988年4月

第1回国際プログラム委員会 1988年4月

国立京都国際会館にて

予備サーキュラー発送開始	1988年2月	5口以上	6口未満は	9数	予約	9数
ポスター発送開始	1989年4月	6口以上	7口未満は	73数	予約	78数
第1回サーキュラー発送開始	1989年6月	7口以上	8口未満は	4数	予約	8数
日本学術会議共同主催決定	1989年6月	8口以上	9口未満は	18数	予約	27数
第1回組織委員会	1989年8月14日	9口以上	10口未満は	1数	予約	0数
	日本学術会議にて	10口以上	11口未満は	42数	予約	37数
第2回組織委員会	1989年9月30日	12口以上	13口未満は	4数	予約	4数
	上智大学にて	14口以上	15口未満は	2数	予約	0数
第2回国際プログラム委員会	1989年10月	15口以上	16口未満は	3数	予約	0数
	パリにて開催	16口以上	17口未満は	1数	予約	1数
招待講演者への招待状発送	1989年11月	17口以上	18口未満は	0数	予約	1数
第2回サーキュラー発送開始	1989年12月	20口以上	21口未満は	95数	予約	119数
第3回組織委員会	1990年4月3日	26口以上	27口未満は	1数	予約	0数
	岡山理科大学にて	30口以上	31口未満は	5数	予約	6数
10分間講演受付締切	1990年4月15日	32口以上	33口未満は	0数	予約	1数
割引登録料による登録締切	1990年5月15日	33口以上	34口未満は	1数	予約	1数
第3回サーキュラー発送	1990年6月	40口以上	41口未満は	5数	予約	5数
宿舍申込締切	1990年6月30日	50口以上	51口未満は	2数	予約	2数
IMU 理事会	1990年8月17日	60口以上	61口未満は	1数	予約	1数
	神戸国際会議場にて	80口以上	81口未満は	1数	予約	1数
IMU 総会	1990年8月18日-20日	100口以上	101口未満は	3数	予約	3数
	神戸国際会議場にて	160口以上	161口未満は	1数	予約	1数
ICM 90	1990年8月21日-29日	220口以上	221口未満は	1数	予約	1数
	国立京都国際会館にて					
第4回組織委員会	1990年10月					
プロシーディング発刊	1991年8月					

なお募金関係のことを再記します。

募金計画

名称 ICM 90 日本数学会特別募金

対象 日本数学会会員および募金主旨賛同者

募金 1口 5000円

(1人につき2口以上を期待するが分数口も可)

(20口以上寄付された方のICM 90の登録料は免除されます)

目標額 3000万円以上

募金期間 1987年から1990年8月まで

募金団体 日本数学会

募金方法 郵便振替にてご送金ください。

加入者名 ICM 90 日本数学会特別募金

加入者番号 東京 8-27526

郵便振替用紙は下記の実務担当者にご請求下さい。

実務担当者 飯高 茂

(学習院大学理学部数学教室 電 03-986-0221 内 445)

(4) ICM 90 関連シンポジウム

前回お知らせしたほかに次のICM 90 関連シンポジウムが計画されています。

(3) ICM 90 日本数学会特別募金
 ICM 90 数学会特別募金 89/08/15 現在
 (募金目標は3千万円以上ですが、便宜上3千万円として計算)
 入金総計 = ¥28,886,500
 予約 平均口数(一人あたり) = 7.5
 寄付 平均口数(一人あたり) = 6.9
 寄付者人数 = 836 予約者人数 = 836
 寄付平均額 = ¥34,553 標準偏差 = ¥65,925
 (予約無しのご入金はすべて予約されたものとして扱いました)

目標到達率(=入金総額/3千万円) 96.29%

入金額の分布(一口は5千円) 予約額の分布

0口<	1口未満は	5数	予約	3数
1口以上	2口未満は	51数	予約	38数
2口以上	3口未満は	362数	予約	347数
3口以上	4口未満は	33数	予約	26数
4口以上	5口未満は	112数	予約	116数

開催予定日 (ICM)	会議名 主題 等	開催場所	参加予定数 国外+国内	連絡先 世話係 等
8.14-8.18	Zeta Functions in Geometry	東工大	10+10 講演者数	砂田利一(名大)